

いやしの里「増川笑楽耕」
 小学校となった小学校施設を活用した、体験交流宿泊施設です。季節によって、田植えや、そば打ちなどの体験ができます。バンガローや共同炊事場ほか、旧校舎を改装した農産物加工室もあります。隣を流れる増川は、毎年6月頃にホテルが舞い飛ぶ気候スポットです。【東みよし町】TEL.0883-79-5582

産直みかも
 新鮮で安心安全な農産物を中心に、お惣菜等の加工品など、おふくろの味が店内に並びます。町特産のいちごやゆずを使った「手づくり菓子工房みかも」のケーキ、アイスクリームも大人気です。【東みよし町】TEL.0883-87-8822

西日本第2位の高峰「剣山」への最短ルート
 徳島県つるぎ町
 登山後にゆっくりつかるう
 美人の湯 剣山木綿温泉
 お問合せ先 つるぎ町商工観光課 TEL0883-62-3111

うだつの町並
 美馬市役所 観光課 徳島県美馬市穴吹町吹字九反地5
 TEL0883-52-5610 FAX0883-52-1704

浄土真宗 本願寺派 千葉山 安楽寺
 徳島県美馬市美馬町字宮西11番地 TEL0883-63-2015
 http://www.anrakuji.net FAX0883-63-5536



美濃田の淵
 長さ2km、幅100mにわたる深い淵で、個性的な奇岩の数々を遊覧船で楽しめます。【東みよし町】

阿讃サーキット
 標高600mにある、四国唯一のJAF公認サーキットです。モータースポーツ愛好家はもちろん、ドライビング規制がないため、車と免許証、ヘルメット等を用意すれば誰でも走行が楽しめます。【東みよし町】TEL.0883-79-3705【東みよし町】■営業時間/9時~17時 ■休日/第1、第3日曜、毎週火曜

安楽寺の能舞台
 寺院は仏の教えを伝える以外に伝統継承も大切な役割と考へ、1996(平成8)年4月に誕生しました。能舞台は一般開放しているため、能狂言の上演以外にも伝統芸能や講習会など、また結婚式の写真の前取り撮影場所としても使われています。【美馬市】

真言宗御室派準別格本山 新四国曼荼羅霊場68番 宝壺山 願勝寺
 〒771-2105 徳島県美馬市美馬町字願勝寺8
 TEL0883-63-2118 FAX0883-63-5655

東アジア最大級のフライトエリア水の丸
 水の丸エリアには、複数のパラグライダーのフライトポイントが点在し、最高高度差は東アジア最大級の1,000mを誇ります。東西に連なる山並に沿って50km以上のアウト&リターンが可能のため、スケールの大きなフライトが楽しめます。【東みよし町】

ブルーヴィラあなぶき
 清流穴吹川河畔にあり、レストラン、大浴場、研修室などを備えた別荘の雰囲気漂う滞在型保養施設です。露天風呂やサウナ、うたせ湯、薬湯などの入浴施設をはじめ、地元の食材を活かしたレストランや郷土品などの地元産のお土産コーナーもあります。また、バーベキューハウスが人気で、セットはもちろん、予約により食材まですべて揃えてくれ、手ぶらで利用できるのが魅力です。コテージも4棟あり、家族連れで自由に利用でき、穴吹川での水遊びや周辺散策道でのハイキングやウォーキングも楽しめます。【美馬市】

道の駅藍ランドうだつ「藍蔵」
 寛政4(1792)年に操業した藍商「吉田家住宅」(市指定文化財)。約600坪の敷地には江戸時代中期から後期にかけて建てられた母屋、質蔵、藍蔵など5棟が中庭を囲むように建っています。その藍蔵を改修し、1階部分をお土産売場、2階部分をレストランカフェとして観光客をおもてなしています。地元産阿波尾鶏のせいご飯セットや「モナカアイスクリーム」が大人気です。【美馬市】

ぶどう饅頭【日乃出本店】
 ぶどう饅頭は阿波の剣山に由来します。剣山は古くから武道信仰の山として知られる四国の名峰です。大正3年、日乃出本店初代西川芳太郎が武道の土産折願のため剣山を訪れる多くの人々の土産として、武道に因み「ぶどう」を模したお菓子を創製、以来100年余りに渡り、「ぶどう饅頭」は阿波の名物として愛されています。【美馬市】

美村が丘
 広さは、約6,895m²。北には雄大な阿讃山地の山並みとせまり、南には三好市から紀伊水道まで見渡せるパノラマの絶景が広がります。本館は、木造2階建て一部鉄筋延べ約800m²。5人が泊まることができる和室(10畳)5部屋と研修室、食堂、浴室、展望台などを備えた滞在型施設です。別荘風に造られたコテージも5棟あり、バーベキューはもちろん、屋は吉野川平野の絶景、夜には満天の星空と美しい夜景が楽しめます。【美馬市】

美馬市観光交流センター
 観光、歴史及び文化の情報を発信するとともに、伝統文化を通じた市民と来訪者との交流を創出する場としての施設です。「観光交流室」「和傘工房」「藍染工房」「茶房」があります。【美馬市】

真光二層うだつの町並み
 真光のうだつは二段式になった防火壁に立派な屋根がある重厚なものです。うだつ正面には家ごとに異なる美しい絵模様(鏝絵・こてえ)が施され、美術建築としての風格も備えています。町並みには旧永井家庄屋敷や織本屋など無料で見学することができます。【つるぎ町】

協町劇場オデオン座
 1934(昭和9)年、藤中富三氏、清水太平氏らが中心となり、当時町内の事業家であった森幸雄氏や吉川長次氏の協力を得、西洋モダン風の外観で、回り舞台、奈落などを備えた本格的な芝居小屋として建てられました。戦前には歌舞伎や浪曲の上演で人気を集め、戦後には歌謡ショー公演や映画上映など地域の憩いの場として親しまれました。その後、映画の斜陽化と建物の老朽化が重なり、閉館・解体の予定でしたが、山田洋次監督の「虹をつかむ男」のロケ舞台となったことがきっかけで、平成11年に町指定文化財として昭和初期の創建時の姿に修復され、一般公開されることになりました。【美馬市】

津志嶽のジャクナゲ群生地帯
 津志嶽(1493.5m)の中腹にジャクナゲの群生が広がり、毎年5月下旬に花を咲かせ、多くの登山者を楽しませています。【つるぎ町】

巨樹王国
 つるぎ町は日本有数の巨樹の里です。樹齢800年、日本の赤羽根大師のエノキ(写真)をはじめ、巨樹の多くは神社やお堂の側にたち、人々の生活と密接に関わってきました。そんな巨樹をめぐるツアーも定期開催中!【つるぎ町】

旧永井家庄屋敷
 寛政3年(西暦1791)建築、敷地面積約550坪の旧庄屋敷。母屋やねどこ、蔵などの建物が並び、旧永井家に伝わる骨董品や鶴亀蓬菜庭園など、入場無料で自由に見学することができます。【つるぎ町】

土釜・鳴滝
 土釜は緑色片岩の岩層を川の流れによって浸蝕された渓谷。3段に落ちる滝つぼの形状が釜に似ていることからこの名がつけました。鳴滝は落差85mの県下一の規模を誇る勇壮な滝。頂上から身をくねらせながら落ちる姿は圧巻です。【つるぎ町】

吉良のエドヒガン桜
 樹齢約400年のエドヒガン桜として、昭和46年に徳島県の天然記念物に指定されています。毎年4月上旬に花を咲かせ、訪れる多くの人々の心を魅せています。【つるぎ町】

東福寺本堂(国登録有形文化財)
 五剣山宝光院東福寺と称し、本尊不動明王をまつ。真言宗御室派で総本山仁和寺に属す。縁起では、神亀元(724)年忌部大祭主玉淵宿禰が忌部神社の法楽として、法福寺を建立。さらに、大社の東西に寺を建て、後東寺を東福寺と改め、忌部別当としたという。また、弘法大師が巡錫の時、南山に宝剣が下るのを見て、不動明王を刻み本尊として、弘仁3(812)年に開創したとも伝う。天正10(1582)年長宗我部元親氏の兵火に罹り、慶長2(1597)年僧宝光が中興して宝光院とした。文化2(1805)年1月焼失、同3年吉良より現地に移転、天保4(1833)年再建し、現在に至る。【つるぎ町】

於安パーク
 千本桜が咲き誇る徳島県内でも有数の桜の名所。毎年4月上旬に「桜フェスティバル」が開催され、町外からも多くの方が訪れ賑わっています。また、約50種類の草花、20種類をこえる遊具など子供から大人まで楽しめる憩いの公園となっています。【つるぎ町】

美馬市観光交流センター
 観光、歴史及び文化の情報を発信するとともに、伝統文化を通じた市民と来訪者との交流を創出する場としての施設です。「観光交流室」「和傘工房」「藍染工房」「茶房」があります。【美馬市】

祖谷自慢そば
 古式 そば手打ち体験 3,000円
 平家御膳 食事のみ 1,000円
つづき商店
 徳島県三好市東祖谷若林84-1
 TEL(0883)88-5625 FAX88-5415

丸石パークランド
 心やすらぐ つるぎのひととき!
 徳島県三好市東祖谷名頃
 TEL.0883-88-2768

新四国曼荼羅霊場第七十番札所・端山四国八十八ヶ所霊場第三十九番札所
精進料理と俳句の寺・郷土美術館
忌部別当 東福寺・東福寺美術館
 美馬郡つるぎ町真光寺木屋341 TEL.0883-62-2207 http://www.toufukujij.or.jp/

西日本随一の性の神
お花大権現
 阿波西国観音霊場 第十番(千手観音)
 真言宗御室派 宝光山文殊院 林下寺
 徳島県三好郡東みよし町中庄2271
 TEL0883-82-2364 FAX82-2374

山を幸を味わえる山菜料理
レストハウス 霧の峰
 営業期間 4月~11月末
 徳島県三好市東祖谷菅生5211
 TEL・FAX0883-67-5575

東福寺本堂(国登録有形文化財)
 五剣山宝光院東福寺と称し、本尊不動明王をまつ。真言宗御室派で総本山仁和寺に属す。縁起では、神亀元(724)年忌部大祭主玉淵宿禰が忌部神社の法楽として、法福寺を建立。さらに、大社の東西に寺を建て、後東寺を東福寺と改め、忌部別当としたという。また、弘法大師が巡錫の時、南山に宝剣が下るのを見て、不動明王を刻み本尊として、弘仁3(812)年に開創したとも伝う。天正10(1582)年長宗我部元親氏の兵火に罹り、慶長2(1597)年僧宝光が中興して宝光院とした。文化2(1805)年1月焼失、同3年吉良より現地に移転、天保4(1833)年再建し、現在に至る。【つるぎ町】